

基準 10 教育情報等の公表

(1) 観点ごとの分析

観点 10-1-①：大学の目的（学士課程であれば学部、学科又は課程等ごと、大学院課程であれば研究科又は専攻等ごとを含む。）が、適切に公表されるとともに、構成員（教職員及び学生）に周知されているか。

【観点到係る状況】

大学の目的は、本学公式ウェブサイトの「大学情報」のページの「理念・目的・目標」部分及び「国立大学法人熊本大学規則集」掲載の「熊本大学学則」部分に、また各学部の学科又は課程ごと、及び大学院の各研究科又は専攻ごとの教育研究上の目的は、一覧形式で、同様に「大学情報」のページの「教育研究上の目的」部分に掲載し、公表している。また、大学全体の理念及び目的については、各年度に発行する『学生案内』にも掲載し、各学部・研究科等ごとの教育研究上の目的は、それぞれ当該学部・研究科等の『学生便覧』にも掲載し、これらを教職員及び学生に配布するとともに、新任・転任教員等教育研修会や新入生ガイダンスにおいて説明し、周知を図っている。なお、教職員及び学生は、『学生案内』及び『学生便覧』の内容を、学内 LAN の「熊本大学ポータル」を通じて確認できるようになっている【資料 10-1-①-A】。

資料 10-1-①-A 大学の目的等

| | |
|--|---|
| 熊本大学の理念・目的・目標： | http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/gaiyo |
| 熊本大学学則： | http://kokai.jimu.kumamoto-u.ac.jp/~kisoku/act/frame/frame110000189.htm |
| 各学部の教育研究上の目的： | http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/gaiyo/mokuteki |
| 各研究科の教育研究上の目的： | http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/gaiyo/mokuteki/daigakuin |
| 熊本大学ポータル： | https://kuss.kumamoto-u.ac.jp/binran/bin0014.php |
| 各年度『学生案内』及び各学部・研究科等の『学生便覧』は上記学内専用「熊本大学ポータル」にて参照可 | |

【分析結果とその根拠理由】

本学の目的並びに各学部・研究科等の教育研究上の目的は、本学公式ウェブサイト及び印刷物において明確に示されている。また、それらは、研修会やガイダンスの場等を通じて、教職員及び学生に周知されている。

以上により、本学の目的は、適切に公表されるとともに、構成員に周知されていると判断する。

観点 10-1-②：入学者受入方針、教育課程の編成・実施方針及び学位授与方針が適切に公表、周知されているか。

【観点到係る状況】

入学者受入方針は、アドミッションポリシーとして、本学公式ウェブサイトの「入試案内」のページの「アドミッションポリシー」部分において、全学共通及び各学部の学科又は課程ごとの入学者受入方針を一覧形式で掲載し、公表している。また、大学院の各研究科等の入学者受入方針についても、同様に「入試案内」のページにおいて一覧形式で掲載し、公表している。それらのうち、各学部等の入学者受入方針については、各年度に発行する『熊本大学案内（がんばれ受験生）』や『入学者選抜要項』及び『募集要項』にも明示しており、入学志願者及びその保護者、高校教員等に対して、オープンキャンパスや進学説明会の場を通じて説明し、周知している。

教育課程の編成・実施方針及び学位授与方針については、本学公式ウェブサイトの「教育」のページの「学位授与の方針、カリキュラム編成方針」部分に、学士課程及び大学院課程に分けて学位授与方針を示し、また各学部・研究科等の学位授与方針及びカリキュラム編成方針をそれぞれ詳細に掲載し、公表している。それらは、さらに一部の学部（文学部・法学部・工学部）の学生便覧にも明示し、学生及び教職員に周知している【資料10-1-②-A】。

資料10-1-②-A 入学者受入方針等

全学共通のアドミッション・ポリシー及び各学部等のもの
http://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/gakubunyushi/admission_policy
 各研究科等のアドミッション・ポリシー
<http://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/daigakuinnyushi>
 『熊本大学案内2016（がんばれ受験生）』
<http://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/daigakuanni>
 『入学者選抜要項』及び『募集要項』
 学士課程の学位授与の方針
<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/curriculum/gakusikatei>
 各学部等の学位授与の方針及びカリキュラム編成方針
 文学部：<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/curriculum/bungakubu>
 教育学部：<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/curriculum/kyouikugakubu>
 法学部：<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/curriculum/hougakubu>
 理学部：<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/curriculum/rigakubu>
 医学部医学科：<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/curriculum/igakubu>
 医学部保健学科：<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/curriculum/hokengaku>
 薬学部：<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/curriculum/yakugakubu>
 工学部：<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/curriculum/kougakubu>
 大学院課程の学位授与の方針
<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/curriculum/daigakuin>
 各研究科等の学位授与の方針及びカリキュラム編成方針
 教育学研究科：<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/curriculum/kyouikugakukenyuuka>
 社会文化科学研究科：<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/curriculum/syabunken>
 自然科学研究科：<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/curriculum/sizenkagaku>
 医学教育部：<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/curriculum/igakukyoiukubu>
 保健学教育部：<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/curriculum/hokengakukyoiukubu>
 薬学教育部：<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/curriculum/yakugakukyoiukubu>
 法曹養成研究科：<http://www.kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/curriculum/hosoyousei>
 文学部・法学部・工学部の『学生便覧』は、学内専用「熊本大学ポータル」にて参照可

【分析結果とその根拠理由】

入学者受入方針は、本学公式ウェブサイト及び複数の印刷物において明確に示され、それらはオープンキャンパスや進学説明会での説明、さらには入学志願者等への印刷物の配布等を通じて周知されている。教育課程の編成・実施方針及び学位授与方針については、本学公式ウェブサイトにおいて、一覧形式で各学部・研究科等のその詳細が把握できるように掲載され、周知されている。学位授与方針等については、一部学部で先行しているように、すべての学部等の学生便覧への掲載を行うことにより、より徹底した周知を図ることができると考えられる。

以上により、入学者受入方針、教育課程の編成・実施方針及び学位授与方針は、その一部のさらなる周知徹底に関して改善の余地があるといえるものの、適切に公表、周知されていると判断する。

観点 10-1-③： 教育研究活動等についての情報（学校教育法施行規則第 172 条の 2 に規定される事項を含む。）が公表されているか。

【観点に係る状況】

学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項各号に規定されている教育研究活動等の状況についての情報は、本学公式ウェブサイトの「大学情報」のページの「教育情報の公表」部分において、一覧形式で公表している。年間の授業計画（シラバス）については、在学生や教員等のみならず、入学希望者等も確認できるように、別途公表している。

また、学校教育法第 109 条第 1 項に基づく自己点検・評価の結果については、同様に、本学公式ウェブサイトの「大学情報」のページの「大学評価」の部分において、「自己評価書」、「自己点検・評価報告書等の一覧」及び「外部評価実施状況」を示している。なお、本学公式ウェブサイトの「学部・大学院等」のページから、リンク形式でつながる本学法曹養成研究科のウェブサイトには、その独自の認証評価結果が掲載されており、最新の（平成 24 年度）「自己評価書」及び「評価結果」によれば、平成 15 年 3 月 31 日文科科学省告示第 53 号第 3 条第 1 項に定める入学者のうちの一一定の入学者の割合については、2 割以上となっており、上記の本学法曹養成研究科の「自己評価書」及び「評価結果」に加えて、さらに同条第 2 項に基づく公表を行う必要性は特段ない。

財務諸表については、本学公式ウェブサイトの「大学情報」のページの「財務に関する情報」部分において、過去の分も含めた各年度の財務諸表を一覧形式で公表している。

これら以外の教育研究活動等の状況については、本学公式ウェブサイトの「大学情報」のページの「広報」部分に掲載している「熊大通信」や「WEB マガジン『KUMADAI NOW』」などを通じて発信している（「熊大通信」は、冊子体で配布もしている）【資料 10-1-③-A】。

資料 10-1-③-A 熊本大学公式ウェブサイト等

| | |
|------------------------|---|
| 教育情報の公表： | http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigaku_jouhou/kyoiku_jyoho |
| 熊本大学シラバス： | http://syllabus.kumamoto-u.ac.jp/ |
| 自己点検・評価： | http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigaku_jouhou/kihon_joho/hyouka |
| 法曹養成研究科の外部評価： | http://www.ls.kumamoto-u.ac.jp/evaluation1.html |
| 財務諸表： | http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigaku_jouhou/jouhoukoukai/zaimu |
| 熊大通信： | http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigaku_jouhou/kouhou/kouhoushi/kumatu |
| WEB マガジン「KUMADAI NOW」： | http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigaku_jouhou/kouhou/kouhoushi/kumadainow |

【分析結果とその根拠理由】

学校教育法施行規則第 172 条の 2 に規定されている教育研究活動等の状況についての情報、自己点検・評価の結果、及び財務諸表等は、本学公式ウェブサイトにおいて網羅的に公表している。また、冊子体の発行を含め、本学公式ウェブサイトを利用した広報誌を通じて、大学の教育研究活動に関する情報を親しみやすい形で広く社会に発信している。

以上により、教育研究活動等についての情報は公表されていると判断する。

(2) 優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

- 教育研究情報等の必要な情報は、本学公式ウェブサイトを集約する形で網羅的に公表し、学生のみならず、入学希望者、企業やその研究者、地域・一般の方など、多様な大学の利害関係者に対して、わかりやすく発信している。
- 教職員及び学生に配布される多くの冊子媒体の資料は本学公式ウェブサイトに再掲されるなどして、情報を利用しやすいようにしている。

【改善を要する点】

- 本学の日本語の公式ウェブサイトでは、必要な情報が網羅的に示されているが、英語、中国語及び韓国語では基本的な情報の発信ができるにとどまっており、外国語では、必ずしも日本語の公式ウェブサイトと同じだけの教育研究情報等を確認することができるわけではない。今後の早期の充実が必要である。